

岸和田消防の沿革概要

| | |
|----------------------|---|
| 明治27年2月27日 (1894) | 消防組の組織 消防組の発布により、岸和田に消防組が結成された（組頭1名、小頭1名、組員20～30名、腕用ポンプ1台） |
| 大正11年11月1日 (1922) | 市制の施行 市制の施行により岸和田市となり、消防組は、旧4ヶ町村の組織を継承して4組とする（組頭4名、小頭4名、消防手60名、ガソリンポンプ4台） |
| 昭和6年6月 (1931) | 常備消防制度を採用 従来の消防組を改組して岸和田消防組とし、常備消防組と予備消防組を編成する。常備消防組は、旧公会堂（元市民会館）横に屯所を設け、消防手6名、消防ポンプ自動車1台を配置した |
| 昭和14年4月 (1939) | 岸和田市警防団を組織 警防団令により消防組を改組して岸和田市警防団を組織する（1本部、8分団、団員数707名、手挽ポンプ6台、水管自動車1台） 常備消防組は、警防団の常備消防部となり部長以下13名で編成する |
| 昭和16年8月 (1941) | 消火栓の設置 岸和田市の上水道が通水開始、水道管に消火栓が設置された |
| 昭和19年8月 (1944) | 特別消防補助員を任命 警防団常備消防部の消防手を選抜して特別消防補助員を任命、大阪府から消防曹長2名を迎え、常備消防の強化を図る |
| 昭和20年6月 (1945) | 岸和田特別消防出張所の開設 大阪府警察部消防課直属の岸和田特別消防出張所を開設、岸和田中隊が置かれた（管轄区域は岸和田市・貝塚市、消防ポンプ自動車4台、職員64名） |
| 昭和21年4月 (1946) | 岸和田消防署の設置 特別消防出張所（岸和田中隊）は解除され、岸和田消防署が設置された 山直出張所の開設 新たに岸和田消防署山直出張所が開設され、1本署3出張所（貝塚・南掃守・山直）となる |
| 昭和22年10月 (1947) | 岸和田市消防団を組織 消防団令の制定により警防団を解除し、消防団を組織する |
| 12月 | 消防組織法の公布 法律第226号が公布され、消防は警察機構から分離して市町村に移管され、市町村の管理責任となる |
| 昭和23年3月7日 (1948) | 自治体消防の発足 岸和田市消防本部が誕生、消防組織法の施行によって、自治体消防として新発足した（1本部、1署、2出張所、消防職員34名、消防ポンプ自動車6台） 初代消防長に篠原 勇氏就任 |
| 8月1日 | 消防法の公布施行 （法律第186号） |
| 昭和24年5月20日 (1949) | 消防庁舎が竣工 岸和田市消防本部・消防署の庁舎が岸城町7-1に新築された |
| 6月4日 | 水防法の公布施行 （法律第193号） |
| 昭和25年2月9日 (1950) | 消防記念日の制定 3月7日を消防記念日とすることに決定 |

| | |
|-----------------------|--|
| 昭和26年11月28日 (1951) | 水槽付大型消防ポンプ自動車（積載水量 3,000L）を購入 本署に配置 |
| 昭和27年 7月23日 (1952) | 第2代消防長に田中 清市氏就任 |
| 昭和28年 4月 1日 (1953) | 春木出張所を開設 春木本町 1483 番地の 3 に春木出張所を開設、ポンプ自動車 1 台を配置し消防業務を開始する |
| 昭和29年 2月17日 (1954) | 阪南 3 市消防相互応援協定 岸和田市・貝塚市・泉佐野市の 3 市相互応援協定を締結する |
| 4月 2日 | 水槽付消防ポンプ自動車（積載水量 2,000L）を購入 本署に配置 |
| 昭和30年 3月25日 (1955) | 岸和田市消防団を解散し、岸和田市水防団が結成される |
| 昭和31年 4月 2日 (1956) | 東葛城特別消防出張所を開設 神於町 232 の 8 番地に東葛城特別消防出張所を開設、消防ポンプ自動車 1 台を配置し、消防業務を開始する |
| 昭和32年 6月 8日 (1957) | 自動車整備工場を開設 本署庁舎内に整備工場を設け、消防車両・公用車等の整備を開始した |
| 昭和33年12月18日 (1958) | 消防ポンプ自動車の寄贈 日本損害保険協会から寄贈をうけ、本署に配置 |
| 昭和35年 5月17日 (1960) | 消防本部の機構改革 課制を採用し、庶務・経理・予防・教養・機械・警備の 6 課とする |
| 12月20日 | 救急業務の開始 本署に救急車を配置し、救急業務を開始した |
| 昭和36年 2月25日 (1961) | 水槽付消防ポンプ自動車（積載水量 2,000L）を購入 本署に配置 |
| 3月25日 | 第3代消防長に芝本 磐夫氏就任 |
| 10月31日 | 自動車整備工場の認証 自動車整備工場が大阪陸運局より自家用自動車分解整備事業の認証をうける |
| 昭和37年 3月13日 (1962) | 岸和田市火災予防条例（条例第 13 号）が制定される |
| 10月18日 | 救急車の寄贈 岸和田ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 12月 5日 | 春木出張所新築移転 春木若松町 22 番 27 号に庁舎新築、業務を開始する |
| 昭和38年10月19日 (1963) | 消防ポンプ自動車の寄贈 岸和田市火災予防協会から寄贈をうけ、南掃守出張所に配置 |
| 12月11日 | 南掃守出張所新築移転 上松町 1267 の 2 番地に庁舎新築、消防業務を開始する |
| 昭和39年 6月30日 (1964) | 消防本部新庁舎竣工 岸和田市消防本部・消防署の新庁舎が岸城町 7-1 に竣工、仮庁舎から移転、消防業務を開始する |
| 8月 1日 | 泉北 2 市 1 町と消防相互応援協定 岸和田市・泉大津市・和泉市・忠岡町の 3 市 1 町の相互応援協定を締結 |
| 12月 1日 | 第4代消防長に湯谷 稔氏就任 |

| | |
|-----------------------|--|
| 昭和40年4月1日 (1965) | 消防本部の機構改革 総務課・予防課・機械課・警備課の4課となる |
| 11月3日 | 水槽付消防ポンプ自動車（積載水量2,000L）を購入 本署に配置 |
| 昭和41年11月10日 (1966) | 屈折はしご付消防ポンプ自動車（スノーケル車）を購入 本署に配置 |
| 昭和42年2月25日 (1967) | 放水砲の寄贈 岸和田市火災予防協会から寄贈をうける |
| 9月1日 | 消防救助隊を編成 人命救助を主目的とする救助隊を編成する |
| 11月15日 | 水槽付消防ポンプ自動車の寄贈 日本損害保険協会から寄贈をうけ、本署に配置（積載水量1,800L） |
| 12月1日 | 消防副士長制度を採用する |
| 昭和43年10月5日 (1968) | 救急車を購入 酸素呼吸器等救急器材を完備した救急車を購入、本署に配置 |
| 昭和44年6月1日 (1969) | 消防救助隊を「特科隊」と改称する |
| 6月15日 | 自治体消防発足20周年 岸和田市火災予防協会創立20周年記念式典を挙げる |
| 7月17日 | 消防艇の応援協定 堺市高石市消防組合が配備した消防艇「茅海丸」の応援協定を締結 |
| 9月5日 | 海上保安署と業務協定 船舶火災について岸和田海上保安署と業務協定を締結 |
| 10月25日 | 阪南3市1町の消防相互応援協定 岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南町の消防相互応援協定を締結 |
| 昭和45年3月10日 (1970) | 救急医療無線局の運用 大阪府と救急医療無線局の整備運用に関する基本協定を締結、極超短波無線機の運用を開始する |
| 10月1日 | 山直出張所新築移転 岡山町266の1に庁舎新築、業務を開始する ヘリコプター航空消防応援協定 大阪市と回転翼航空機（ヘリコプター）の応援協定を締結 |
| 昭和46年8月1日 (1971) | 救急サイレン音切替 救急車のサイレン音をピーポー音に一斉切替 |
| 昭和47年4月1日 (1972) | 阪和林野火災消防相互応援協定 大阪府と和歌山県に境界を接する市町間の林野火災における相互応援協定を締結 |
| 6月9日 | 八木出張所の開設 中井町96の4番地に八木出張所を開設し、消防力の充実を図る |
| 7月1日 | アクアラング隊を編成 特科隊に編入する |
| 12月1日 | 救急車の寄贈 (社)大阪府モーターボート協会から寄贈をうける |
| 12月15日 | 化学消防自動車を購入 化学火災に対処するため化学車を購入、本署に配置 (積載水量1,500L、化学薬剤500L、粉末薬剤100kg等を装備する) |
| 昭和48年4月2日 (1973) | 第5代消防長に信貴 堅一氏就任 |
| 5月16日 | 自治体消防発足25周年 岸和田市火災予防協会創立25周年記念式典を挙げる |
| 7月1日 | 火災予防条例改正 岸和田市火災予防条例が全部改正される |
| 10月15日 | 広報査察車の寄贈 岸和田ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 昭和50年5月1日 (1975) | 特科隊を「消防救助隊」と改称する |

| | |
|----------------------|--|
| 7月30日 | 救助用ゴムボート・船外機・救助機具の寄贈 岸和田市火災予防協会から寄贈をうける |
| 昭和51年4月15日 (1976) | 救急車の寄贈 日本損害保険協会から寄贈をうける |
| 5月18日 | 救急車の寄贈 住友生命保険相互会社から寄贈をうける |
| 5月23日 | 総合防災訓練 第1回岸和田市総合防災訓練が競馬場跡地で実施された |
| 昭和52年2月17日 (1977) | 水槽付消防ポンプ自動車（積載水量1,500L）を購入 本署に配置 |
| 昭和53年6月20日 (1978) | 南ブロック応援協定 大阪府下南ブロック消防相互応援協定が締結される。これにより堺市以南にある各市町の応援協定が統一された |
| 10月1日 | 阪和林野火災消防相互応援協定 大阪府と和歌山県に境界を接する市町間の林野火災の応援協定を締結（昭和47年締結の協定は廃止） |
| 10月19日 | 自治体消防発足30周年 岸和田市火災予防協会創立30周年記念式典を挙げる |
| 12月25日 | 通信指令装置を導入 消防通信の能率的運営を期するため消防救急指令装置「B」を設置する |
| 昭和54年3月7日 (1979) | 記念誌の発行 自治体消防発足30周年の記念誌として「岸和田消防のあゆみ」を発刊する |
| 昭和55年1月21日 (1980) | 救急車を購入 救急車を増強し、救急体制の充実を図る |
| 7月12日 | 第6代消防長に松山 辰見氏就任 |
| 昭和56年1月23日 (1981) | パトロール車の寄贈 岸和田ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 6月2日 | 東葛城出張所の庁舎竣工 神於町の現在地に新庁舎が完成。仮庁舎より移転、消防業務を開始する |
| 7月1日 | 圧縮空気充てん設備の設置 八木出張所に高圧ガス取締法に基づく圧縮空気充てん設備を設置する |
| 8月7日 | 気象観測装置の設置 気象観測を開始する |
| 11月23日 | 救助工作車を購入 消防救助隊の専用車として救助工作車を購入配置し、救助活動の充実を図る |
| 昭和57年2月1日 (1982) | 救急車の寄贈 (社)日本自動車工業会から寄贈をうける |
| 4月1日 | 八木出張所に救急車を配置 八木特別出張所と改称、救急車を常備配置し、救急体制の充実を図る |
| 5月1日 | 宮前町に自主防災組織が結成される |
| 7月10日 | 予防査察車を購入 従来の広報査察車の名称を変更し、予防行政の一層の充実を図る |
| 11月19日 | 現場指揮車の寄贈 岸和田ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 11月24日 | 水槽付消防ポンプ自動車の寄贈 (社)日本損害保険協会から寄贈をうける（積載水量1,600L） |
| 昭和58年3月30日 (1983) | 救急車の寄贈 大阪府共済農業協同組合連合会から寄贈をうける |
| 8月4日 | 第7代消防長に原 徳一氏就任 |

| | |
|----------------------|---|
| 9月30日 | 八木特別出張所増築 救急車配置に伴い仮眠室・会議室を増築 |
| 11月24日 | 調査車の寄贈 岸和田遊技業組合から寄贈をうける |
| 昭和59年3月31日 (1984) | 記念誌発刊 自治体消防発足35周年を記念して「岸和田消防のあゆみ」を発刊する |
| 7月17日 | 消防ポンプ自動車を購入 春木出張所に配置 |
| 8月1日 | 大阪府下南ブロック消防相互応援協定 熊取町が加入し、加入市町は6市3町と1消防組合消防本部となる |
| 10月1日 | 火災予防条例改正 岸和田市火災予防条例が一部改正された |
| 12月22日 | 土生滝町に自主防災組織が結成される |
| 昭和60年4月1日 (1985) | 第8代消防長に西村 元治氏就任 |
| 11月1日 | 消防ポンプ自動車を購入 八木特別出張所に配置 |
| 12月11日 | 救急車の寄贈 (社)大阪府モーターボート競走会から寄贈をうける |
| 昭和61年4月1日 (1986) | 第9代消防長に清瀬 喜代隆氏就任 |
| 9月1日 | 第1回婦人消防クラブ結成式を挙げる |
| 10月1日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 10月27日 | 大沢町(大沢町上・大沢町下・牛滝町)に自主防災組織が結成される |
| 昭和62年1月11日 (1987) | 下松町 住宅火災 損害額27,780千円、焼失面積1,058㎡、類焼4棟 |
| 5月11日 | 第1期岸和田市幼年消防クラブが結成される 上松町小羊幼稚園 園児120名 |
| 12月19日 | 救急車の寄贈 (社)大阪府モーターボート競走会から寄贈をうける |
| 12月21日 | 春木若松町 工場火災 損害額73,511千円、1棟1,443㎡全焼 |
| 12月28日 | 消防ポンプ自動車を購入 南掃守出張所に配置 岸和田市火災予防協会から特別装備の寄贈をうける |
| 昭和63年4月1日 (1988) | 気象予警報受信用ファックスを通信指令室に設置 |
| 9月19日 | 第2期岸和田市幼年消防クラブ、岸和田市婦人防火クラブが結成される 天神山保育園児25名、山直南・旭校区40名 |
| 10月15日 | 塔原町・相川町地区に自主防災組織が結成される |
| 11月2日 | 西之内町に消防訓練場(2,280㎡)が完成する |
| 12月10日 | 救急車の寄贈 (社)大阪府モーターボート競走会から寄贈をうける |
| 昭和64年1月1日 (1989) | 岸和田市消防職員等表彰規則を制定 岸和田市危険物規制規則を制定 |
| 平成元年3月31日 (1989) | 記念誌の発行 自治体消防発足40周年を記念して「岸和田消防のあゆみ」を発刊する |
| 4月1日 | 岸和田市職員定数条例を一部改正する(121人) 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 機械課を廃止、施設管理係として総務課に統合する 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 山直出張所を山直分署と改称、救急車を常備配置して救急体制の充実を図る 八木特別出張所を八木出張所と改称する 岸和田市消防職員服務規程を全部改正する 岸和田市消防職員の服務の宣誓書の様式を定める規程を制定 |

| | |
|---------------------|--|
| 4月5日 | 沼町 工場火災 損害額 142,384 千円、1 棟全焼 2,382 m ² |
| 7月1日 | 岸和田市救急業務実施に関する規程を制定 |
| 9月10日 | 光明地区に自主防災組織が結成される |
| 12月8日 | 救急車の寄贈 (社)大阪府モーターボート競走会から寄贈をうける |
| 平成2年1月8日 (1990) | 南上町1丁目 住宅火災 損害額 32,647 千円、焼損面積延べ 756 m ² |
| 3月16日 | 指揮車の寄贈 千亀利ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 3月29日 | 近畿自動車道松原・海南線消防相互応援協定を締結する 協定市町：7市3町 |
| 3月30日 | 阪和自動車道共用開始される(岸和田和泉IC～阪南IC) 消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入 山直分署に配置 消防緊急情報システムを導入運用開始する |
| 4月1日 | 第10代消防長に森 信雄氏が就任 |
| 10月22日 | 救急車の寄贈 (社)大阪府モーターボート競走会から寄贈をうける |
| 10月29日 | 山直南校区に自主防災組織が結成される |
| 12月10日 | 第3期岸和田市幼年消防クラブが結成される 星光保育園 園児 24名 |
| 平成3年4月1日 (1991) | 岸和田市職員定数条例を一部改正する(130人) |
| 5月24日 | 春木出張所の庁舎竣工 春木若松町の現在地に新庁舎が完成、消防・救急体制の充実を図る |
| 6月7日 | 広報車の寄贈 (財)日本防火協会から岸和田市婦人防火クラブに対し、防火広報車の寄贈をうける |
| 6月10日 | 阪和林野火災消防相互応援協定の一部が改正される |
| 7月15日 | 西之内町に婦人防火クラブが結成される |
| 7月22日 | 岸和田市消防職員立入検査証等に関する規則を一部改正する |
| 9月24日 | 阿間河滝町に自主防災組織が結成される |
| 11月9日 | 35m級はしご付消防自動車を購入 本署に配置 岸和田市火災予防協会から特別機装の寄贈をうける |
| 12月6日 | 岸和田市消防長訓令の用語等の統一に関する規程を制定 |
| 平成4年3月24日 (1992) | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 4月1日 | 岸和田市職員定数条例を一部改正する(136人) |
| 4月27日 | 額原町 工場火災 損害額 303,979 千円、焼失面積 1,141 m ² |
| 7月1日 | 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する 岸和田市の交替制勤務に従事する消防職員の勤務時間等に関する規程を制定 |
| 9月1日 | 岸和田市消防警備規程を制定する |
| 9月28日 | 化学II型消防ポンプ自動車を購入 八木出張所に配置 |
| 10月17日 | 別所町に自主防災組織が結成される |
| 11月30日 | 消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入 東葛城出張所に配置 |
| 平成5年4月1日 (1993) | 第11代消防長に久高 幸一郎氏が就任 岸和田市職員定数条例を一部改正する(150人) 岸和田市消防賞じゅつ金条例を一部改正する |
| 5月27日 | 加守町4丁目 工場火災 損害額 36,219 千円、658 m ² 全焼 |
| 8月5日 | 第22回消防救助技術近畿地区指導会において「ほふく救出」第1位となる |
| 8月20日 | 第22回全国消防救助技術大会に近畿地区代表として出場 「ほふく救出」入賞 |
| 8月27日 | 自治体消防発足45周年・岸和田市火災予防協会創立45周年記念式典が挙行される |

| | |
|---------------------|---|
| 9月25日 | 近畿自動車道松原・海南線消防相互応援協定が一部改正される 協定書の名称が「近畿自動車道松原・すさみ線消防相互応援協定書」に改正される |
| 10月1日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 10月28日 | 藤井町に自主防災組織が結成される |
| 12月1日 | 岸和田市の交替制勤務に従事する消防職員の勤務時間等に関する規程を一部改正する（週休2日制実施） |
| 平成6年1月1日 (1994) | 岸和田市救急業務実施に関する規程を一部改正する |
| 2月22日 | 中井町 工場火災 損害額 160,371 千円、焼損延面積 1,926 m ² 、類焼 2 棟 |
| 3月1日 | 警備関係要綱等の制定 岸和田市消防非常警備実施要綱、岸和田市消防救助隊運用要綱、岸和田市消防警備調査及び警備計画要綱、岸和田市消防警備活動実施要領を制定し、円滑な警備業務及び警備活動の推進を図る |
| 4月1日 | 岸和田市火災予防条例施行規則並びに岸和田市危険物規則を一部改正する 岸和田市消防職員被服等貸与規程を一部改正する 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 救助救急係の事務分掌を現状に即した規定に整備を図る |
| 5月1日 | 岸和田市消防吏員服装規則を一部改正する |
| 6月21日 | 関西国際空港消防相互応援協定を締結（平成6年6月27日施行） 協定市町……11市町及び関西国際空港（株） |
| 7月1日 | 近畿自動車道松原すさみ線及び関西国際空港線消防相互応援協定を締結（平成6年7月1日施行） 協定市町……大阪府8市町及び和歌山県3市町 岸和田市応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱を制定する |
| 8月30日 | 阪神高速道路消防協議会発足 阪神高速道路沿線市町（大阪府12市町及び兵庫県6市）の協議会が発足される |
| 10月4日 | 西之内町に自主防災組織が結成される |
| 10月27日 | パトロール車の寄贈 岸和田ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 12月15日 | 岸和田遊技業組合から査察車の寄贈をうける |
| 12月24日 | 大町 住宅火災 損害額 23,561 千円、焼損延面積 496 m ² 死者 1 名 |
| 平成7年1月17日 (1995) | 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）発生、救急車延べ9台、人員延べ28名、消防車延べ3台、人員延べ12名が応援出動する |
| 2月13日 | 高度化救急業務実施に伴う心電図伝送装置等の協定を締結する （泉州救命救急センター・近畿大学医学部救命救急センター・市立岸和田市民病院） |
| 2月17日 | 高規格救急自動車を購入 本署に配置 救急救命士6名を確保して、高度救急業務を開始する |
| 3月23日 | 沼町 住宅火災 死者1名、焼損延面積 103 m ² |
| 3月29日 | 下池田町 工場火災 損害額 54,200 千円、焼損延面積 523 m ² |
| 4月1日 | 第12代消防長に新屋 朝夫氏が就任 |
| 5月1日 | 岸和田市指定消防水利規程を全部改正する |
| 6月28日 | 磯上町 住宅火災 死者2名、負傷者1名、焼損延面積 211 m ² |
| 7月27日 | 第24回消防救助技術近畿地区指導会に出場 「ほふく救出・ロープ応用登はん・ロープ登はん」の部に入賞する |
| 10月6日 | 神於町・上白原町地区に自主防災組織が結成される |
| 10月12日 | 事務用機器の寄贈 岸和田遊技業組合から寄贈をうける |
| 10月20日 | 指揮車の寄贈 岸和田市火災予防協会から寄贈をうける |
| 10月25日 | 15m級はしご付消防ポンプ車を購入 八木出張所に配置 消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入 春木出張所に配置 |

| | |
|---------------------|---|
| 11月4日 | 消防フェスティバルを挙げる 広く市民とのふれあいを通して消防に対する理解を一層深めると共に、防火防災意識の高揚と火災をはじめとする災害防止の啓発を図る目的で実施 |
| 11月10日 | APEC大阪会議の開催に伴う特別警備を実施する 大阪市消防学校において、府下各消防本部が参加して結団式を挙げる。期間中、宿泊施設及び高速道路において特別警備を実施する |
| 12月26日 | 高度化救急業務実施に伴う心電図伝送装置等の協定を締結（岸和田徳洲会病院） |
| 平成8年1月30日 (1996) | 岸和田市幼年消防クラブ9園900名が結成され、12園1,150名となる (新規結成クラブ=双葉児童園・八木保育園・五風会保育園・山直南保育園 この花保育園・光陽保育園・久米田保育園・やまだい保育園・光明保育園) |
| 2月6日 | 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 山直分署用地の所有権移転に伴い、所在地が岸和田市岡山町262-5番地に変更 |
| 3月28日 | 畑町 工場火災 損害額53,102千円、焼損面積988㎡ |
| 3月29日 | 岸和田市消防本部及び消防署事務決裁規程を一部改正する |
| 4月1日 | 岸和田市職員定数条例を一部改正する(155人) 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 春木出張所を春木分署と改称する |
| 6月10日 | 岸和田市の交替制勤務に従事する消防職員の勤務時間等に関する規程を一部改正する |
| 7月25日 | 消防救助技術近畿地区指導会に出場 「ほふく救出」の部に入賞する |
| 8月28日 | 尾生町 工場火災 損害額88,651千円、焼損面積940㎡ |
| 10月1日 | 泉州救命救急センターにおける研修に関する協定を締結 協定市町：8市3町 泉州地域救急業務連絡協議会が発足する 岸和田市消防警備規程を一部改正する |
| 10月4日 | 上野町西自主防災組織が結成される |
| 10月6日 | 南上町一丁目自主防災組織・春木旭町府宮住宅自主防災組織が結成される |
| 10月8日 | 救助工作車を購入 本署に配置 |
| 11月10日 | 第1回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 (内畑町・神楽目青少年広場、6組織参加) |
| 11月24日 | 第52回国民体育大会開催に伴う剣道競技リハーサル大会の特別警備を実施する |
| 平成9年1月1日 (1997) | 岸和田市火災調査規程を制定する 岸和田市消防職員任用規程を一部改正する 題名を「岸和田市消防職員の採用及び昇任に関する規程」に改める |
| 1月28日 | 高規格救急自動車を購入 山直分署に配置 |
| 2月23日 | 北阪町に自主防災組織が結成される |
| 4月1日 | 第13代消防長に永野 健一氏が就任 岸和田市職員定数条例を一部改正する(157人) |
| 4月27日 | 岸和田市自主防災会連絡協議会が発足 組織相互間の連携と組織の活性化を図るため15組織が発足する |
| 7月8日 | 尾生町 工場火災 死者1名、損害額369,267千円、2棟延3,894㎡全焼 |
| 9月1日 | 大阪府下広域消防相互応援協定が一部改正される 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 10月28・29日 | 第52回国民体育大会開催に伴い、剣道競技大会会場の特別警備を実施する |
| 11月2日 | 第2回自主防災会消火栓操法競技大会を開催(西之内町・中央公園、13組織参加) |
| 11月9日 | 上野町東に自主防災組織が結成される |
| 11月13日 | 水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入 山直分署に配置 |
| 11月16日 | 葛城町に自主防災組織が結成される |
| 12月14日 | 東ヶ丘町に自主防災組織が結成される |
| 12月25日 | 「大阪府下自動車電話・携帯電話からの119番通報に関する申し合わせ」締結、施行される 大阪府下を10地域に分割し、地域ごとに代表する消防本部において、それぞれの地域内における携帯電話等から119番通報を受信し、代表消防本部の管轄区域外からの通報の場合は、管轄消防本部等へ転送するシステムを運用開始する |

| | |
|-----------------------|--|
| 平成10年 1月1日 (1998) | 岸和田市消防警備規程を一部改正する |
| 2月27日 | 近畿大学医学部救命救急センターにおける研修に関する協定書を締結 |
| 3月31日 | 非常電源設備を各署所に設置する |
| 4月1日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する 岸和田市職員定数条例を一部改正する(161名) 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 岸和田市消防本部及び消防署事務決裁規程の一部改正する 消防職員旅費支給条例(昭和23年条例第49号)を廃止する 職員旅費条例に整理統合される |
| 6月24日 | 自治体消防発足50周年 岸和田市火災予防協会創立50周年記念式典を挙げる 岸和田市火災予防協会から軽四輪自動車(3台)、積載・携帯無線機、事務用機器の寄贈をうける |
| 7月30日 | 第27回消防救助技術近畿地区指導会において、「ほふく救出」第2位となる |
| 8月28日 | 第27回全国消防救助技術大会に近畿地区代表として出場、「ほふく救出」入賞 |
| 9月27日 | 畑町に自主防災組織が結成される |
| 10月1日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 10月13日 | 神須屋町 倉庫火災 負傷者3名、損害額6,137千円、焼損面積815㎡ |
| 10月25日 | 第3回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 (三ヶ山町・蜻蛉池公園、6組織参加) |
| 平成11年 1月27日 (1999) | 指揮調査車の寄贈 岸和田千亀利ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 3月3日 | 高規格救急自動車を購入 春木分署に配置 |
| 3月7日 | 北野町に自主防災組織が結成される |
| 3月22日 | 新港町 工場火災 損害額159,852千円、焼損面積1,877㎡ |
| 4月1日 | 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 岸和田市救急業務実施に関する規程を一部改正する 岸和田市消防衛生管理規程を一部改正する |
| 5月1日 | 岸和田市火災調査規程を一部改正する |
| 7月26日 | 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する |
| 10月24日 | 第4回自主防災会消火栓操法競技大会を開催(西之内町・中央公園、17組織参加) |
| 10月31日 | 第23回全国育樹祭開催に伴い、会場の特別警備を実施する |
| 12月1日 | 岸和田市消防安全運転管理規程を制定する |
| 12月5日 | 極楽寺町に自主防災組織が結成される |
| 12月9日 | 消防ポンプ自動車(CD-I型)2台を購入 八木出張所・南掃守出張所に配置 |
| 平成12年 2月6日 (2000) | 加守町3丁目に自主防災組織が結成される |
| 2月20日 | 田治米町 工場火災 損害額80,857千円、焼損面積367㎡ |
| 4月1日 | 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 岸和田市危険物規制規則を一部改正する 岸和田市消防職員被服等貸与規程を全部改正する 岸和田市火災予防条例を一部改正する 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する |
| 8月31日 | 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 岸和田市消防本部及び消防署事務決裁規程を一部改正する |
| 11月12日 | 第5回自主防災会消火栓操法競技大会を開催(西之内町・中央公園、18組織参加) |
| 12月13日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 平成13年 1月19日 (2001) | 大手町 工場火災 工場・倉庫・共同住宅等3棟全焼・1棟半焼、焼損延面積426㎡ |
| 3月1日 | 岸和田市消防安全運転管理規程を一部改正する |

| | |
|----------------------|---|
| 4月1日 | 第14代消防長に永橋 英志氏が就任 岸和田市手数料条例を一部改正する 岸和田市消防長告示第1号（消防用設備等の検査をする必要があると認める防火対象物の指定）を一部改正する 岸和田市消防長告示第2号（必要な知識及び技能を有する者の指定）を一部改正する |
| 7月22日 | 春木若松町に自主防災組織が結成される |
| 7月26日 | 第30回消防救助技術近畿地区指導会において、「ほふく救出」第3位となる |
| 8月8日 | 第30回全国消防救助技術大会に近畿地区代表として出場 「ほふく救出」入賞 |
| 11月11日 | 第6回自主防災会消火栓操法大会を開催（西之内町・中央公園、18組織参加） |
| 11月22日 | 葛城町 住宅火災 死者1名、焼損延面積100㎡ |
| 平成14年2月6日 (2002) | 荒木町 住宅火災 1棟全焼、死者1名 |
| 2月12日 | 岸和田市救急業務実施に関する規程を一部改正する |
| 3月27日 | 岸和田市救急業務実施に関する規程を一部改正する |
| 4月1日 | 特例市の指定を受ける 岸和田市消防吏員服装規則を一部改正する |
| 5月24日 | 中井町2丁目 工場火災 工場1棟全焼、他4棟全焼、焼損面積2,850㎡、損害額888,771千円 |
| 10月25日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 11月10日 | 第7回自主防災会消火栓操法大会を開催（西之内町・中央公園、17組織参加） |
| 12月10日 | 災害対策用高規格救急車を購入 本署に配置 |
| 平成15年1月26日 (2003) | 下野町 住宅火災 死者1名 |
| 2月1日 | 沼町 住宅兼店舗火災 死者1名、店舗兼住宅等2棟全焼、焼損延面積223㎡ |
| 3月13日 | 岸和田市火災予防違反処理規程を一部改正する |
| 4月1日 | 第15代消防長に井出 明氏が就任 岸和田市消防本部等公印規程を一部改正する 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する 岸和田市消防本部及び消防署事務決裁規程を一部改正する |
| 4月6日 | 春木泉町 共同住宅火災 死者1名、焼損延べ面積45㎡ |
| 8月1日 | 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する |
| 10月22日 | 第16回全国女性消防操法大会に岸和田市女性消防隊が出場する |
| 10月27日 | 西大路町 工場火災 焼損延べ面積1,914㎡、損害額82,720千円 |
| 11月7日 | 木材町 工場火災 焼損延べ面積3,863㎡、損害額348,829千円 |
| 11月9日 | 第8回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 （稲葉町・近畿ポリテクカレッジ、14組織参加） |
| 平成16年1月27日 (2004) | 池尻町 住宅火災 1棟全焼、1棟部分焼、2棟ぼや |
| 4月1日 | 第16代消防長に瀧藤 修一氏が就任 岸和田市危険物規制規則を一部改正する |
| 5月7日 | 西大路町 工場火災 焼損延面積1,059㎡、損害額39,824千円 |
| 6月18日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 7月29日 | 第33回消防救助技術近畿地区指導会において、「ほふく救出」第1位となる |
| 8月26日 | 第33回全国消防救助技術大会に近畿地区代表として出場 「ほふく救出」入賞 |
| 10月1日 | 救急ワークステーションの試行運用を開始する （実施場所：市立岸和田市民病院、岸和田徳洲会病院） |
| 10月28・29日 | 台風23号災害により兵庫県豊岡市へ緊急消防援助隊として出場する （春木消防隊） |
| 10月31日 | 作才町に自主防災組織が結成される |

| | |
|----------------------|---|
| 11月7日 | 第9回自主防災会消火栓操法大会を開催（西之内町・中央公園、13組織参加） |
| 12月7日 | 災害対応特殊消防ポンプ自動車を購入 山直分署に配置 |
| 平成17年4月1日 (2005) | 岸和田市消防団の設置に関する条例を制定 岸和田市消防団員の定数、任免、報酬、服務等に関する条例を制定 岸和田市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定 岸和田市消防職員賞じゅつ金条例を一部改正する 消防功労章条例を一部改正する |
| 7月13日 | 磯上町 店舗火災 焼損面積 400 m ² |
| 7月22日 | 野田町 建物火災 焼損面積 660 m ² |
| 9月23日 | 岸和田市消防団結団式を挙げる |
| 10月1日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 10月22日 | 流木町に自主防災組織が結成される |
| 12月20日 | 高規格救急自動車を購入 山直分署に配置 |
| 12月26日 | 消防ポンプ自動車（水槽付CD-I型、積載水量900L）を購入 東葛城出張所に配置 |
| 平成18年1月20日 (2006) | 大沢町 住宅火災 焼損面積 269 m ² |
| 3月23日 | 岸和田市火災予防条例を一部改正する |
| 4月1日 | 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する 岸和田市職員定数条例を一部改正する（166名） 岸和田市消防警備規程を一部改正する 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する |
| 8月29日 | 岸和田市消防本部及び消防署の設置等に関する条例を一部改正する |
| 9月4日 | 岸和田市消防署の組織に関する規程を一部改正する |
| 9月13日 | 岸和田市消防署八木出張所に救急隊1隊増隊 |
| 10月1日 | 松風町 住宅火災 焼損面積 177 m ² |
| 10月14日 | 第11回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 （西之内町・岸和田市総合体育館、11組織参加） |
| 12月26日 | 高規格救急自動車を購入 八木出張所配備 |
| 平成19年1月6日 (2007) | 消防出初め式（千亀利公園周辺） |
| 1月8日 | 磯上町 住宅火災 死者1名 |
| 1月22日 | 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する |
| 2月1日 | 消防新庁舎建設検討委員会を設置 |
| 4月1日 | 岸和田市の交替制勤務に従事する消防職員の勤務時間等に関する規程を一部改正する 岸和田市消防職員の採用及び昇任に関する規程を一部改正する |
| 5月10日 | 岸野町 建物火災 焼損面積 424 m ² |
| 5月23日 | 予防活動車の寄贈 岸和田市火災予防協会から寄贈をうける |
| 7月28日 | 第36回消防救助技術近畿地区指導会において、「引揚救助」第1位となる |
| 8月1日 | 岸和田市消防職員の採用及び昇任に関する規程を一部改正する |
| 8月22日 | 第36回全国消防救助技術大会に近畿地区代表として出場 「引揚救助」入賞 |
| 9月19日 | 臨海町 原料倉庫火災 |
| 11月1日 | 岸和田市消防本部電子署名実施規程を制定 |
| 11月5日 | 第12回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 （西之内町・岸和田市総合体育館、13組織参加） |
| 12月2日 | 土生町に自主防災組織が結成される |
| 平成20年1月11日 (2008) | 消防出初め式（千亀利公園周辺） |
| 4月1日 | 岸和田市職員定数条例を一部改正する（175名） 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する |

| | |
|---------------------|---|
| 5月1日 | 岸和田市消防職員委員会に関する規則を一部改正する |
| 5月2日 | 大沢町 住宅火災 焼損面積 137 m ² |
| 7月26日 | 第37回消防救助技術近畿地区指導会において、「引揚救助」第2位となる |
| 8月20日 | 第1回大阪府泉州ブロック消防広域化検討会が開催される |
| 8月29日 | 第37回全国消防救助技術大会に近畿地区代表として出場 「引揚救助」入賞 |
| 8月31日 | 岸之浦町において、平成20年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練が実施される |
| 9月1日 | 岸之浦町において、平成20年度近畿府県合同防災訓練が実施される |
| 10月1日 | 消防本部庁舎新築安全祈願祭が挙行される |
| 10月26日 | 磯上町に自主防災組織が結成される |
| 11月20日 | 消防ポンプ自動車（水槽付CD-I型、積載水量900L）を購入 春木分署に配置 |
| 11月23日 | 第13回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 （西之内町・岸和田市総合体育館、13組織参加） |
| 12月6日 | 真上町 工場火災 焼損面積 156 m ² 負傷者1名 |
| 平成21年1月7日 (2009) | 消防出初め式（千亀利公園周辺） |
| 3月14日 | 臨海町 工場火災 焼損面積 844 m ² 、死者1名、負傷者8名 |
| 4月1日 | 第17代消防長に上田 三代松氏が就任 |
| 4月21日 | 南上町 共同住宅火災 焼損面積 234 m ² |
| 6月4日 | 岸之浦町において平成21年第33回岸和田市総合防災訓練が実施される |
| 6月14日 | 磯上町 共同住宅火災 焼損面積 283 m ² |
| 10月25日 | 天神山校区に自主防災組織が結成される |
| 11月7日 | 岸和田市消防本部新庁舎が完成し、上松町に移転 岸和田市消防本部新庁舎完成に伴い、南掃守出張所が移転 岸和田市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する 岸和田市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則を制定する 岸和田市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する 岸和田市消防職員委員会に関する規則の一部を改正する 資機材搬送車の寄贈 岸和田市火災予防協会から寄贈をうける |
| 11月15日 | 第14回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 （西之内町・岸和田市総合体育館、12組織参加） |
| 12月28日 | 南町 共同住宅火災 焼損面積 16 m ² 、死者1名 |
| 平成22年1月7日 (2010) | 消防出初め式（千亀利公園周辺） |
| 1月25日 | 緑ヶ丘町に自主防災組織が結成される |
| 1月28日 | 岸和田市消防本部消防署が上松町に移転し、南掃守出張所が閉鎖され、旧消防署に岸城分署が設置される 岸和田市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則を制定 岸和田市消防本部の組織に関する規則の一部を改正する 岸和田市消防職員委員会に関する規程の一部を改正する 岸和田市消防署の組織に関する規程の一部を改正する |
| 3月3日 | 地蔵浜町 工場火災 焼損面積 420 m ² |
| 4月1日 | 岸和田市職員定数条例を一部改正する（179名） |
| 4月23日 | 上松町上松台西に自主防災組織が結成される |
| 5月17日 | 高規格救急自動車を購入 春木分署に配置 東大路町 長屋住宅火災 焼損面積 836 m ² |

| | |
|---------------------|--|
| 5月22日 | 加守町4丁目 長屋住宅火災 焼損面積 301 m ² 、死者1名、負傷者1名 |
| 6月11日 | 平成22年度(第34回)岸和田市総合防災訓練が実施される |
| 10月20日 | 地蔵浜町 車両火災 車両一台焼損、死者1名 |
| 10月28日 | パトロール車の寄贈 岸和田ライオンズクラブから寄贈をうける |
| 10月31日 | 太田町に自主防災組織が結成される |
| 11月4日 | 上松町 住宅火災 焼損面積 168 m ² 、死者1名 |
| 11月14日 | 第15回自主防災会消火栓操法大会を開催 (西之内町・岸和田市総合体育館、13組織参加) |
| 11月23日 | 上野町西 住宅火災 焼損面積 65 m ² 、死者1名 |
| 12月1日 | 救急医療相談業務に係る応援協定を締結(大阪市との間) |
| 平成23年1月7日 (2011) | 消防出初め式(千亀利公園周辺) |
| 3月11日 | 東日本大震災発生、緊急消防援助隊大阪府隊として消防隊・救急隊延べ17名が応援出動する |
| 3月12日 | 田治米町 車両火災 死者1名 |
| 4月1日 | 第18代消防長に貝塚谷 光一氏が就任 岸和田市消防職員の採用及び昇任に関する規程の一部を改正する |
| 4月10日 | 木材町 工場火災 焼損表面積 144 m ² 、損害額 39,933千円 |
| 5月9日 | 河合町 住宅火災 焼損面積 135 m ² 、負傷者2名 |
| 5月26日 | 岸和田市消防本部マスコットキャラクター「きしぼう」誕生 |
| 6月10日 | 平成23年度(第35回)岸和田市総合防災訓練が実施される |
| 6月15日 | 内畑町 倉庫火災 焼損面積 11 m ² 、死者1名 |
| 8月31日 | 流木町 工場火災 焼損面積 600 m ² 、損害額 25,040千円 |
| 10月15日 | 「第2回防災・安全フィールドワークキャラバン in 泉南」が港緑町で開催される |
| 11月27日 | 第16回自主防災会消火栓操法大会を開催 (西之内町・岸和田市総合体育館、10組織参加) |
| 12月8日 | 河合町 住宅火災 焼損面積 342 m ² |
| 12月18日 | 消防ポンプ自動車(水槽付CD-I型、積載水量900L)を購入 岸城分署に配置 |
| 平成24年1月7日 (2012) | 消防出初め式(千亀利公園周辺) |
| 1月16日 | 40m級はしご付消防自動車を購入 本署に配置 |
| 2月8日 | 下野町 共同住宅火災 負傷者2名 焼損面積 115 m ² 損害額 12,644千円 |
| 2月24日 | 土生町 共同住宅火災 負傷者1名 焼損面積 61 m ² 損害額 5,211千円 |
| 2月3日 | 春の火災予防運動キャンペーンを開催 (港緑町 浪切ホール祭りの広場及びその周辺) 玄覚 悠子さんに一日消防長を委嘱 |
| 3月16日 | 保安3法に係る事務が大阪府から権限を移譲される |
| 4月1日 | 岸和田市消防関係事務手数料条例を制定する 岸和田市消防関係事務手数料条例施行規則を制定する 岸和田市消防本部の組織に関する規則を一部改正する 岸和田市火薬類取締法に基づく事務取扱規則を制定する 岸和田市高圧ガス保安法に基づく事務取扱規則を制定する 岸和田市液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務取扱規則を制定する 消防長に対する事務委任に関する規程を全部改正する |

| | |
|---------------------|---|
| 5月28日 | 春木中町 店舗兼用住宅火災 負傷者2名 焼損面積72㎡ 損害額15,925千円 |
| 6月17日 | 流木町 工場火災 焼損面積685㎡ 損害額32,972千円 |
| 7月4日 | 平成24年度(第36回)岸和田市総合防災訓練が実施される |
| 9月28日 | 上松町 住宅火災 死者1名 |
| 10月12日 | 三田町 事務所火災 |
| 11月19日 | 負傷者2名 焼損面積4㎡ 損害額304千円 救助工作車を購入 本署に配置 |
| 11月25日 | 第17回自主防災会消火栓操法大会を開催 (西之内町 中央公園臨時第1駐車場 11組織参加) |
| 11月30日 | 化学Ⅱ型消防ポンプ自動車を購入 本署に配置 高規格救急自動車を購入 山直分署に配置 |
| 12月1日 | 岸和田市火災予防条例施行規則を一部改正する |
| 12月25日 | 下池田町 店舗火災 負傷者2名 焼損面積41㎡ 損害額10,566千円 |
| 平成25年1月7日 (2013) | 消防出初め式(千亀利公園周辺) |
| 1月8日 | 下池田町 ガレージ火災 負傷者1名 焼損面積80㎡ 損害額1,764千円 |
| 1月10日 | 山直中町 障害者支援施設建物火災 焼損面積358㎡ 損害額17,423千円 |
| 2月24日 | 春の火災予防運動キャンペーンを開催 (港緑町 浪切ホール祭りの広場及びその周辺) 第66代横綱 若乃花 花田虎上さんに一日消防長を委嘱 |
| 3月12日 | 岸和田市消防職員立入検査証等に関する規則を一部改正する |
| 4月1日 | 岸和田市火災調査規程を一部改正する |
| 4月10日 | 下野町 長屋住宅火災 負傷者2名 焼損面積6㎡ 損害額182千円 |
| 5月1日 | 岸和田市消防本部電子署名実施規程を一部改正する |
| 5月4日 | 本町 共同住宅火災 負傷者1名 焼損面積43㎡ 損害額2,626千円 |
| 5月30日 | 平成25年度(第37回)岸和田市総合防災訓練が実施される |
| 6月1日 | 岸和田市消防本部及び消防署事務決裁規程を一部改正する |
| 6月8日 | 稲葉町 住宅火災 死者1名 焼損面積40㎡ 損害額450千円 |
| 8月12日 | 尾生町 納屋火災 焼損面積130㎡ 損害額3,334千円 |
| 9月29日 | 上野町東 共同住宅火災 死者1名 |
| 10月31日 | 救助工作車Ⅰ型ポンプ付消防自動車を購入 山直分署に配置 |
| 11月10日 | 高規格救急車を購入 本署に配置 |
| 11月23日 | 平成25年度岸和田市防災福祉コミュニティシンポジウムを開催 (荒木町 岸和田市立文化会館 自主防災会参加) |

平成 26 年中の主な出来事

- 1 月 5 日 消防出初め式（千亀利公園周辺）
- 1 月 10 日 戎町 住宅火災
負傷者 1 名 焼損面積 10 m² 損害額 1,562 千円
- 3 月 2 日 春の火災予防運動キャンペーンを開催
（港緑町 浪切ホール祭りの広場及びその周辺）
川崎 亜沙美さんに一日消防長を委嘱
- 3 月 3 日 沼町 作業所火災
焼損面積 398 m² 損害額 38,745 千円
- 3 月 16 日 荒木町 共同住宅火災
負傷者 2 名 焼損面積 91 m² 損害額 8,644 千円
- 4 月 1 日 第 19 代消防長に藤原 秀一氏が就任
- 4 月 7 日 塔原町 工場火災
焼損面積 357 m² 損害額 27,707 千円
- 5 月 18 日 第 18 回自主防災会消火栓操法競技大会を開催 7 組織が参加
（西之内町 中央公園臨時駐車場）
- 5 月 23 日 平成 26 年度（第 38 回）岸和田市総合防災訓練を実施
- 6 月 1 日 消防救急デジタル無線の運用を開始
- 6 月 27 日 小松里町 工場火災
焼損面積 610 m² 損害額 47,045 千円
- 7 月 1 日 岸和田市火災予防条例の改正
（対象火気器具等の取扱い基準の整備）（露天等の開設届出）
- 7 月 27 日 土生町 店舗兼住宅火災
負傷者 1 名 焼損面積 369 m² 損害額 16,974 千円
- 8 月 30 日 第 1 回岸和田市警防技術指導会を開催
- 9 月 6 日 大阪市総合防災実働訓練実施に伴い、岸和田市災害対策本部・初動対策室
設置運営訓練を実施
- 9 月 29 日 山直中町 住宅火災
焼損面積 50 m² 損害額 10,759 千円
- 12 月 17 日 本町 共同住宅火災
負傷者 2 名 焼損面積 11 m² 損害額 4,342 千円



マスコットキャラクター
『きしぼう』

歴代消防長

| 代 | 在任期間 | 氏名 |
|-----|-----------------------|--------|
| 初代 | 昭和23年3月7日～昭和27年6月27日 | 篠原 勇 |
| 2代 | 昭和27年7月23日～昭和36年2月21日 | 田中 清市 |
| 3代 | 昭和36年3月25日～昭和39年10月3日 | 芝本 磐夫 |
| 4代 | 昭和39年12月1日～昭和48年3月31日 | 湯谷 稔 |
| 5代 | 昭和48年4月2日～昭和55年7月11日 | 信貴 堅一 |
| 6代 | 昭和55年7月12日～昭和58年8月3日 | 松山 辰見 |
| 7代 | 昭和58年8月4日～昭和60年3月31日 | 原 徳一 |
| 8代 | 昭和60年4月1日～昭和61年3月31日 | 西村 元治 |
| 9代 | 昭和61年4月1日～平成2年3月31日 | 清瀬 喜代隆 |
| 10代 | 平成2年4月1日～平成5年3月31日 | 森 信雄 |
| 11代 | 平成5年4月1日～平成7年3月31日 | 久高 幸一郎 |
| 12代 | 平成7年4月1日～平成9年3月31日 | 新屋 朝夫 |
| 13代 | 平成9年4月1日～平成13年3月31日 | 永野 健一 |
| 14代 | 平成13年4月1日～平成15年3月31日 | 永橋 英志 |
| 15代 | 平成15年4月1日～平成16年3月31日 | 井出 明 |
| 16代 | 平成16年4月1日～平成21年3月31日 | 瀧藤 修一 |
| 17代 | 平成21年4月1日～平成23年3月31日 | 上田 三代松 |
| 18代 | 平成23年4月1日～平成26年3月31日 | 貝塚谷 光一 |
| 19代 | 平成26年4月1日～現在に至る | 藤原 秀一 |

(平成27年4月1日現在)